



引き上げられた土手ですぐ焼く。



陸軍病院の内部 グラリ患者の黒こげ遺体



小学校の校庭らしき処で火葬、子供が多い。



家の下敷きになっている人を助けだしていた。

1945年8月6日午前8時15分ひとつの原子爆弾が何万人もの命を奪い、多くの人の人生を奪った。

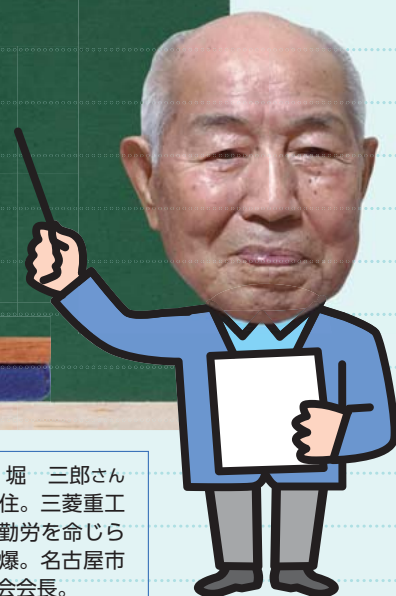
上の絵は、被爆者の牧野俊介さんが生前90歳を前にこの悲惨な出来事を後世に残さなくてはと筆をとられたものです。全国の各都市に原爆の恐ろしさを伝えるため送られたもので、今回紹介した絵は名古屋より「名古屋市原爆被爆者の会」に利用してもらえるように譲られたものです。

名古屋市原爆被爆者の会 TEL 052-792-1236

70年前のヒロシマのまちは

被爆者として核兵器の非人道性をまだまだ理解してもらえるような運動の広がりがつくれていないという思いでいます。私は語り部として原爆の話をしてほしいと要請をもらえば、体験をもっともっと聞いてもらいたいのので体調やスケジュールが許す限り要請に応えています。

堀 三郎
(守山区金屋)



プロフィール：堀 三郎さん
守山区金屋在住。三菱重工から広島での勤労を命じられ、広島で被爆。名古屋市原爆被爆者の会会長。